

子ども議会

8月1日、毛呂山町役場議場^{ぎじょう}で、第29回子ども議会を開催しました。町立4小学校の6年生を代表する14人の議員が、子ども議長の福田唯乃^{ゆいの}さんの進行で一般質問を行いました。今年はどんな内容だったのでしょうか。子ども議員たちの質問を、ぜひご覧ください。

子ども議会の様子は、ケーブルテレビで放送予定です。

毛呂山中央テレビ共聴組合

9月12日(金) ～ 9月18日(木)
午前10時 正午 午後2時
4時 6時 8時 10時

ゆずの里ケーブルテレビ

11月16日(日) ～ 11月22日(土)
午前10時 午後7時

光山小学校
福田 唯乃 議長



毛呂山小学校
清水 帆果 議員

小さな命と、
つながる毛呂山小学校

毛呂山小学校の使われていないウサギ小屋と鳥小屋をきれいにして、小さな動物園を作りたいと提案します。種類はヤギや羊、ウサギ、モルモットなど、小さな子どもでも触れ合える動物がいいと思います。世話は大変ですが、命の大切さを学べます。エサ代は地域の人に寄付をお願いしたり、食べられるけど捨ててしまうような野菜をもらえば、フードロスも少し減らせます。こうして地域の人と繋がって、誰もが笑顔でいられる場所になると思います。

答弁

地域の方と協力して小さな動物園を作ること、命の大切さを実感でき、交流が生まれる場にもなります。また、エサは捨てる野菜を用いることで環境に優しい取組にもなります。今回のご意見を参考に、学校施設の利用について検討します。



川角小学校
長谷川 菜波 議員

自分の時間をつくりたい！
～学校の日課について～

授業や休み時間が長く、学校が終わる時間が遅いことに困っています。日が短い冬は、4時半のチャイムですぐに帰らなければならず、外で遊ぶ時間も少ないです。授業や休み時間を1分ずつ短くしたり、朝の会・帰りの会をテキパキと進め、学校が終わる時間を早めれば、早く家に帰って友達や家族と交流したり、趣味の時間に使ったりできて、もっと充実した毎日になると思います。また先生たちの帰る時間も早められるかもしれません。

答弁

これまでの日課を見直し、自分の時間が増えることで、友達・家族との交流、趣味の時間、地域での活動等、学校だけでは学べない様々な体験ができ、より充実したものに変われるのではないかと思います。今後検討してまいります。



泉野小学校
平野 千翔 かずま 議員

毛呂山町に ブランド野菜を

毛呂山町には最古の柚子があります
が、生産量では高知県に負けているの
で、他県の人からはあまり柚子の印象
がありません。毛呂山町が有名になる
ために、4月～6月は「新玉ねぎ」、
6月～9月は「オクラ」、秋～冬は「か
ぼちゃ」を作ると良いと思います。季
節に合った旬の食材を作ったり、毛呂
山だけの新しい品種を作ること、毛
呂山町はより有名で賑やかになると思
います。

答弁

ご提案の野菜は、町の気候に合った栽
培しやすい作物です。オクラは栄養価
が高く和え物やてんぷらにして、新玉
ねぎはみずみずしいサラダにして、か
ぼちゃは煮物や蒸し物にして美味しく
食べられます。今後はブランド野菜の
可能性についてしっかりと話し合っ
ていきたいと思っています。



毛呂山小学校
堀江 美宇 議員

楽しくて 人気な毛呂山町に

私は他の地域の人や他の県の人に、ポ
スターやパンフレットを使って毛呂山
町を知ってもらうことを提案します。
「流鏑馬」「鎌倉街道」「獅子舞」「ス
ポーツ大会」などのイベント、ゆずを使
ったお菓子やジュース、自然豊かなと
ころをポスターにのせれば、楽しそう
な町の様子が伝わると思います。他の
県からお客さんが来てくれれば、お店
がにぎやかになるし、私たちももっと
毛呂山町のことが好きになります。

答弁

町の美しい風景やイベント時の楽しそ
うな様子をポスターやパンフレットに
掲載し、ホームページやSNSでは、
画像や映像を発信します。また、テレ
ビや新聞等でも取り上げられるよう、
マスコミに向けても積極的に町の情報
を発信していきます。



川角小学校
宇田川 敬太 議員

使わなくなった 学校の活用のかた

毛呂山町には遊べる場所が少なく、家
の中でゲームや本ばかり読んで、目が
悪くなってしまうと思います。体を動
かさなくなり健康にも悪いです。また
毛呂山町では高齢者との交流も少ない
と思います。だから私は使わなくなっ
た校舎で小学生と高齢者が一緒に話し
たり、けん玉やお手玉などの昔の遊び
を遊んだりできる憩いの場をつくるこ
とを提案します。高齢者の方が来やす
いようにバスを出します。地元のお店
と協力して野菜や駄菓子を売っても面
白いと思います。

答弁

子どもと高齢者が抱える課題を解決す
るため、使わなくなった小学校に両者
が交流できる場所をつくるという提案
は、多くの方の共感を得られると思い
ます。実現に向け、多くの方のご意見
もいただきながら、みんなに親しまれ
る場所となるよう取り組みます。



光山小学校
今泉 千愛 ちあ 議員

勉強ができ、 様々な世代が集まれる場所

光山小が廃校になった場合、多世代が
勉強や習い事の練習の場として利用で
きる学びの場にすると良いと思いま
す。同級生で勉強を教えあったり、ま
た違う年齢の人とも交流すること、
視野が広がり、様々な価値観を知るこ
とができます。夏の暑い日の遊び場に
もなります。校庭ではスポーツ活動が
行えます。このように活用すれば、学
校が持っていた教育の場としての役割
を引き継ぎ、地域のつながりがより強
く、さらに進化させられるのではない
でしょうか。

答弁

様々な世代が一緒に過ごすスペースが
あると、交流の場が広がり、学びも深
まり、貴重な経験ができると思います。
また大人は学校での経験を懐かしく思
い出しながら過ごせます。このご意見
を参考に、使用しなくなる学校施設の
利用について検討します。



泉野小学校

片岡 沙月 議員

毛呂山町に電灯を

私の住んでいる目白台では、夜になると事故や事件になっていないか不安で心配になります。そこで私は目白台に電灯を増やして安心できる場所になって欲しいと考えました。電灯を増やす場所は、車や人通りの多い1丁目と2丁目の交差点と、人通りの少ない住宅の近くです。明るくなると、事故は減って、怪しい人も減ると考えます。

答弁

電灯を増やし夜道を明るくすることは、自転車に乗る人や歩行者の安全に繋がるとも大切です。電灯が必要と思われる場所について、学校の先生や周りの人たちとよく相談し、学校や地区から要望をいただければ、現地を確認した上で設置を検討します。



毛呂山小学校

小林 永時えいじ 議員

自然豊かな毛呂山を

畑、田んぼなど自然豊かだった場所に、アパートが多く建っていて、自然がだんだん失われていると感じて悲しい気持ちになりました。僕は造りすぎではないかと思いました。自然が減少することで、雨水を十分にためることができず、生息している動物の生息地が狭まってしまふ、観光産業にも悪影響を及ぼします。以上の理由から、もっと自然を大切にして、自然豊かな毛呂山町として多くの人に知ってもらえるのではないかと思います。

答弁

アパートなどが多く建つと町の活気につながる反面、自然が失われます。町の賑わいと豊かな自然をともに守るため、建物が多く建てられる「市街化区域」と、自然を残す「市街化調整区域」に分けて、バランスをとりながら計画的なまちづくりを進めます。



川角小学校

原 悠粋ゆうすい 議員

動物と触れ合える場所 飼い主の交流

動物を飼っている人をよく見かけますが、動物や飼い主同士が交流する場所がありません。交流によって動物は社会性が身につく、飼い主同士は情報交換ができます。空き地や使われていない公園などを活用して、動物の遊具や、走り回れるスペース、フェンス、ベンチ、屋根のある休憩所を作ります。さらに子どもと一緒に遊べる遊具や、ウサギなどを抱っこできるコーナーもあれば、動物に触れる機会が少ない子どもも楽しめる素敵な場所になるはずです。

答弁

「ゆずの里アウトキャンプ場」にドッグランを設けています。また焚き火とドッグランを組み合わせて、町のグラウンドや河川敷などでペットと一緒に楽しめる空間を創ることを計画しています。今後も動物と人が触れ合える環境づくりを進めます。



泉野小学校

吉仲 翼 議員

毛呂山町に ゲームセンターを

毛呂山町にゲームセンターをすることで、明るく、みんなが楽しい町になると思います。作る場所には2つの候補があります。1つはイオンです。もう1つは泉野小学校です。泉野小は2029年に合併し、校舎は避難をするときぐらいしか使わなくなりそうです。使わなくなった建物はどんどん劣化するの、ゲーム機を置けばたくさんの方が来て、懐かしさを感じながら楽しんで、劣化の進みも遅くなります。

答弁

町がゲームセンターを作ることは、様々な意見や考えがあると思います。統合後の泉野小学校を、子どもたちが集まって楽しく遊べるような居場所として利用することは、有効な活用方法だと思います。貴重なご提案をいただきありがとうございます。



毛呂山小学校

中村 悠大 議員

ぼく達の声を届けたい

選挙は18歳以上しかできないので、18歳未満の人の声を集められるアンケートのような仕組みを作りたいことを提案します。例えば僕は「学校の体育館を放課後や夏休みに自由に使えるようにして欲しい」と思っています。他にも「地域でこんな行事をしたい」「こんな祭りをしたい」とか「公園の遊具を設置して欲しい」というような色々なアイデアを集めることができれば、毛呂山町が楽しく、みんな笑顔になれる町になると思います。

答弁

年齢に関わらず皆さんの意見を聞き「こういう町にしたい」という考えを一つひとつ実現していくことが、笑顔あふれるまちづくりへの第一歩になると考えています。各小学校の皆さんの意見を町長が直接聞く新しい取組を検討していきたいと思っています。



川角小学校

成田 あいら 葵海 議員

子どもと高齢者の交流 ～毛呂山町の施設の活用～

体育館などの施設は、週末にはたくさんの方がいますが、平日はあまり使われていなくもったいないです。そこで私は平日の使われていない時間帯を高齢者と子どもに開放して、一緒に散歩やお話をして交流する場所を増やすことを提案します。普段は家にいることが多い高齢者が外出する機会が増え、子どもは思いやりや助け合いの大切さを学ぶことができ、お互いにとって良い刺激になります。こうして町全体が元気で温かい場所になることを願っています。

答弁

平日の公共施設を活用して、子ども達と高齢者が一緒にスポーツをしたり、物を作ってみたり、昔の遊びを教えてもらったりすると、楽しさを感じられる大切な機会になると思います。この意見を参考に、交流をもてるイベントを開催できるように努めます。



光山小学校

細谷 雄大 議員

給食をビュッフェにする

クリスマスなどの特別な日にビュッフェ形式を取り入れれば、給食が自由で楽しく、待ち遠しくなります。また、自分で選んで盛り付けるので「自分で決めたことだから、しっかりと食べ切ろう」という責任感が育ちます。普段の給食を残してしまう私たちの習慣を改善できるかもしれません。食べ物に対する興味も広がり、普段食べないものに挑戦できるかもしれません。さらに楽しい給食を作ってくれた農家の人や給食を作る人への感謝の気持ちも育まれます。

答弁

ビュッフェ形式はとても楽しく食事ができますが、日々必要とする栄養量のバランスが崩れることも考えられます。これからも皆さんが学校給食を楽しんでもらえるよう、希望を聞いてリクエスト献立を提供する等、たくさん工夫を考えて参ります。



泉野小学校

小原 みどり 小原 碧 議員

子どもたちの 夢を叶えるために

私は、「一日職業体験」の種類をもっと増やすといいと思います。何を増やすかはアンケートをして聞きたいと思います。いろいろな職業体験があれば、今まで知らなかったことに興味があります。また、なりたい職業がどれだけ楽しいか、どれだけ大変か、やってみなければわからないことがわかります。なりたい職業への不安が減って夢を叶えられるかもしれません。なので、ぜひ職業体験を増やして、毛呂山町を子どもたちの夢を叶えられる町にしましょう。

答弁

職業体験では、働くことの喜びや大変さを感じて、自分の適性について考えるきっかけになります。町では夏休み期間に「夏休み体験学習」を実施し、さらに中学1年生で職業体験活動や社会体験チャレンジ事業がありますので楽しみにしてください。